

第27回福井県公民館後期セミナー報告

「コミュニケーション能力を高めよう！」

「GWTの手法を取り入れた人間関係づくり」

平成29年2月1日 福井県生活学習館 参加者94名



▲ 講師 大久保郁子氏

後期セミナーでは、講師に福井ふれあい研究所代表の大久保郁子氏をお迎えし、公民館職員に大切なコミュニケーション能力を高める手法を学びました。

日本GWT協会の上級アドバイザーでもある大久保氏は、「GWT(グループワーク・トレーニング)とはグループ活動を『体験』し、その活動の『ふりかえり』を通して得られた『気づき』を日常生活の中に生かしていけるようにするための学習であり、トレーニング式に行っていくことによって人間力や関係力を向上させることを目的としている」と解説しました。



▲参加者は午前も午後もグループに分かれ、様々な活動を体験した。

◀ 古新聞を使って、自己紹介！？



自分を見つめ直し、理想の公民館職員像についての考えを文として書き出す活動のほか、ゲーム等の演習がふんだんに盛り込まれ、歓声と拍手と笑顔があふれるセミナーとなりました。



▲“あいこでジャンケン”で、相手に心を合わせる！



(以下、先生の言葉より)
「まずは自分を知ること。自分がどういった人間かを受け止め、そんな自分が公民館に関わっていくときに、どんな雰囲気づくりをしていったら良いのか、みなさんがふりかえりの中から感じ取ってください」といっています。」
「ホスピタリティとは何か。それは相手への思いやり、相手に寄り添う、『おもてなしの心』です。」



「レクリエーションでは人と人とが関わって心を開くことによって、閉ざされていた気持ちがあつと開く。そんなプラスの雰囲気をつくっていくのがレクリエーション・コーディネーターとしての私の役目です。同じような役割があるのが、公民館で言う職員の方だと思っております。」
「自分のことを閉ざしてはコミュニケーションは取れません。自分を知り、相手を知ることによって無理なく徐々に『明るい窓』を広くしていきますよ。」

▶ ▼グループ対抗のゲームでは、チームワークの成立する条件を学んだ。



▶ 最後は素敵なプレゼントがありましたね！

